

壁紙施工要領書

- フォイル -

【該当品番】 (2024- Lilycolor MATERIALS)

LMT-16231～16238

■ 特長

- ・転写、蒸着などの技法で金属箔に柄を付け、立体的な表面感と輝きを表現した壁紙です。

■ 選択上の注意

- ・水濡れに弱いため、水廻りには適しません。
- ・金属板・ガラス・耐水ボードなど、非吸水性の下地には貼らないでください。糊が乾かず、変色・腐食する場合があります。
- ・素材の特性上ジョイント部に色ムラが生じることがあります。あらかじめご了承ください。

■ 下地調整

- ・商品の厚みが薄いため、施工後の下地の不陸の目立ちを避けるために、下地面はできるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は、除去するようにしてください。
- ・パテは下地と同色のものを使用するようにしてください。
- ・モルタル、漆喰下地ではアクの影響があるため、全面シーラー等でアク止めを完全に行ってください。
- ・貼り替えの際、裏打ち紙が下地面に浮いた状態で残っている場合は、必ず剥がしたあと施工するようにしてください。浮いた所の上で施工しますと目開きの原因になります。

※詳しくは、施工上のご注意の共通事項をご確認ください。

■接着剤

- ・糊付け機を使用しての糊付けは可能です。
- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水＝10：6～7にエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。また、塗布量は多めにしてください。
- ・エチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要です。
- ・濃度の薄い接着剤は、糊が吸い込まれてしまい接着力が落ちる他に、壁紙を余計に延ばして後の目開きの原因にもなります。
- ・粘りの強い接着剤を使用すると、糊溜まりの原因になりやすいので注意してください。
- ・壁紙表面に接着剤をつけたまま放置しますと変色の原因になりますので、ただちに拭き取るようにしてください。

■養生・オープンタイム

- ・接着剤塗布後は、うませ時間を5～10分程度を目安に作業を進めてください。
- ・素材の特性上、エアーや水分が抜けにくく、低温時に膨れが生じることがあります。低温時に施工する際は、オープンタイムをやや長めに取ってください。温度や湿度に左右されますので現場環境に合わせて調節してください。
- ・オープンタイムは過度に取ると乾燥して、アイハギの発生や、ずらし・あおりの作業が困難となり、施工不良の原因になるおそれがあります。
- ・表面に糊が付くと変色の原因になるため、専用の保護フィルムを貼り付け、巻き取ることをお勧めします。畳む場合はタタミジワを防ぐため、必ず大きくたたんで上積みは避けてください。

■なで付け・ジョイント

- ・なで付けの際はやわらかな刷毛を、ローラー掛けの際はウレタン製のものを使用し、丁寧に均一に行ってください。スモーカーの使用は、キズの原因となるためお控えください。
- ・ジョイント部分のなで付けは横方向には行なわないようにしてください。表面を強く擦ると、光沢感のムラやキズが生じる場合があります。
- ・ジョイントが目立ちやすい傾向にありますので、カッターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態でお使いください。刃の角度は15～20°の角度を保ってカットすると、比較的ジョイント部が目立ちにくく仕上がります。
- ・撫で付けで壁紙がたわんだ際などに、シワが付かないようご注意ください。素材の特性上シワが付くと元に戻りません。

- 石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。
- 表面に施工糊や汗などの汚れが付着したままだと、錆の発生や変色のおそれがあります。付着した場合はすぐに水を含んだタオル等で拭き取り、残った水分をよくしぼったタオル等でたたいて取るようにしてください。
- 素材の特性上、色柄やジョイント部に色差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。
- リPEATのある商品は柄の大きさに差異が生じます。目線部分から合わせる等の配慮をお願いします。

■施工後

- 施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。
- 糊が乾く前にコンセントカバーなどを取り付けますと変色の原因になります。必ず完全に乾燥した後で取り付けてください。